

## 小学部第\*年自立活動学習指導案

日時:令和5年\*\*月\*\*日(\*\*) \*\*:\*~\*\*:\*

場所:小学部 \*年\*組 教室

指導者:松本 菜々子

### 1 題材名

「友達と協力しよう」

### 2 題材について

#### (1) 対象となる児童の実態

本児童は、小学\*年生の男子で知的障害・A D H D の診断を受けている。本校には小学部\*年生から在籍しており、それ以前は地域の小学校に通学していた。基本的な生活習慣は自立している。運動が得意で、体を動かすことが好きである。日常生活では、教師や友達と自分からコミュニケーションをとろうとするが、口調が強かったり、教師や友達に手を出してしまったりと教師や友達に攻撃的な関わりをすることも見られる。また、リーダーなどの役割があることで活動に積極的に参加できることがある。S-M 社会生活能力検査(令和5年8月31日)の結果では、自己統制能力は7歳程度であり、自分がしたいことを優先してしまうため、休み時間後、気持ちを切り替えることが難しく、授業等に取り組むまでに時間がかかる。また、教師から注意をされたり、自分の思い通りにならないことがあったりすると、気持ちが抑えられなくなり、暴言を吐いたり、教室から出て行ったりすることが多い。学習場面では、注意や集中を持続し、安定して学習に取り組むことが難しく、参加できるときでも離席が目立つ傾向にある。自己肯定感が低く、完璧主義的な一面があることから、自信がないことや初めて取り組むこと、見通しがもてないことに対して消極的になってしまう。

#### (2) 題材設定の理由

実態把握の結果から他者との関わりを通して、相手から認められ、他者の意見を受け入れることで自信が付き、様々な活動に肯定的に取り組むことができると考える。そのためには、衝動的な言動をコントロールする方法を身に付けながら、他者と楽しく関わる経験を積み、集団参加の基礎を構築することが必要だと考える。これらを踏まえ、本題材では、特別支援学校学習指導要領自立活動編、2心理的な安定(1)「情緒の安定に関すること」(2)「状況の理解と変化への対応に関すること」(3)「障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること」、3人間関係の形成(1)「他者とのかかわりの基礎に関すること」、(3)「自己の理解と行動の調整に関すること」、(4)「集団への参加の基礎に関すること」、6コミュニケーション(5)「状況に応じたコミュニケーションに関すること」に基づき、授業を行っていく。

題材は、昨年度から取り組んでおり、本人が安心して参加することができる「すごろくゲーム」を設定した。また、すごろくのマスには、ミッションを設け、対象児童が主体的に楽しめるように本人が好きなキャラクターを取り入れた内容とした。すごろくゲームを通して、友達との関わり方を身に付けたり、友達とお互いの良いところを認め合ったりしながら、集団参加の基礎を構築してほしいと考え、本題材を設定した。

#### (3) 指導目標とリストアップされた項目及び具体的な指導内容

長期目標	集団の中で、約束を意識して最後まで活動に取り組もうとすることができる。 <3—(4)>
短期目標	・教師や友達と一緒に、約束やルールを意識して活動することができる。 <3—(4)> ・友達とやり取りしながら、最後まで積極的に活動に取り組むことができる。 <3—(2)>

項目 リスト アップ	健康の 保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の 把握	身体の 動き	コミュニケーション
		(1) 情緒の安定に関すること (2) 状況の理解と変化への対応に関すること (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること  自己肯定感を高める。	(1) 他者とのかわりの基礎に関すること (3) 自己の理解と行動の調整に関すること (4) 集団への参加の基礎に関すること  約束を理解し、集団へ参加する。			

  

指導 内容	健康の 保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の 把握	身体の 動き	コミュニケーション
		ルールや約束を視覚的に示し、それらを意識して活動に取り組めるようにする。	友達と協力しながら、成功体験を積み重ね、自己肯定感を高められるようにする。			

#### (4) 指導にあたって

初めに、授業の約束を絵カードで提示し、全体で確認する。約束の中で、特に頑張りたい約束を一人一つ選び、その約束を守ることを個人目標とする。次に、すごろくゲームを4人ずつの小グループで行う。小グループにすることで活動量が確保できるとともに、児童同士の関わりを活発にし、主体的に取り組むことができるようになる。小グループのメンバーについては、本人に事前に一緒に頑張りたい友達を聞き、それを反映したグループにし、意欲的に取り組めるようにする。また、すごろくゲームのマス目の途中でグループみんなで協力して行うミッションを設け、友達と一緒に成功体験を積み重ね、互いの良さを認め合い、自己肯定感を高めることにつなげたい。振り返りでは、まず、グループごとに学習を通してどんな気持ちになったのかを理由とともに共有し、他者に考えを伝えたり、意見を聞いたりする。気持ちを聞く際には、様々な表情マークを提示し、選択できるようにする。最後に、自分で選んだ約束を守ることができたのかを3段階で自己評価し、教師は良かった場面を具体的に児童に伝え、自己肯定感が高められるようにする。

### 3 指導計画

次	時間	ねらい	指導内容
一	7 本時 は 5/7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごろくゲームのルールを知ることができる。</li> <li>・すごろくゲームのルールを意識して、最後までゲームに取り組むことができる。</li> <li>・グループの友達と協力して活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約束を守る大切さについて考える。</li> <li>・約束やルールを提示し、確認しながらすごろくゲームに取り組む。</li> <li>・すごろくゲームの中にみんなで協力することでクリアできるミッションを設定する。</li> </ul>
二	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにすごろくのマスのお題を考え、オリジナルのすごろくを作り、約束を守ってゲームに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごろくのマスのお題の例を示しながら、教師や友達と一緒に考える。</li> </ul>

#### 4 本時の指導

##### (1) 目標

約束を守って、友達や教師と一緒にすごろくゲームをすることができる。

##### (2) 教材・教具

約束カード、顔写真カード、すごろくセット、移動式ホワイトボード、箱積みブロック、自立活動ポイントカード、タブレット端末

##### (3) 展開 ※形態の表記は、全体：全、グループ：グ、個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容	教師の手立て ※評価は□で囲む
全 1	1 始まりの挨拶をする。	・姿勢を正して挨拶することで、学習の始まりを意識できるようにする。
全 2	2 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           目標            やくそくをまもって、すごろくゲームをしよう。         </div>	・目標を声に出して読むことで、目標を意識できるようにする。
全 2	3 学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           学習内容            1 やくそく            2 すごろくゲーム            3 ふりかえろう            ・きもちをつたえよう            ・やくそくをふりかえろう         </div>	・TIは、児童が見通しをもって授業に取り組めるように学習内容をホワイトボードに提示する。
全 10	4 やくそくを確認し、特に守りたい約束を選ぶ。 ・順番を守ろう ・勝ち負けではなく、約束を守ろう ・落ち着いて話を聞こう ・最後まで楽しくやろう、怒らない ・声のものさしを守ろう	・約束カードを視覚的に提示し、確認できるようにする。 ・特に頑張りたい約束を聞き、授業を通して意識できるように約束カードの隣に顔写真カードを貼るようにする。 (児童自身が選んだ約束を守ることを個人目標とする) ・前時の選んだ約束とその自己評価が分かるような板書の写真を提示し、前回の頑張りを振り返ることで、本時の約束を守る意欲を高めることができるようにする。 ・怒らずに楽しく活動するにはどうすればいいのかを考えられるように発問をする。 ・対象児が顔写真カードを貼りたくないときには、代わりに教師の顔写真カードを渡し、抵抗なく活動に取り組めるようにする。
グ 20	5 すごろくゲームを行う。 ・ルールを確認する。 ・準備をする。	・TIは、ルールを提示して視覚的に確認できるようにする。 ・TIは、タイマーで終わりの時間を伝え、見通しをもって活動できるようにする。

	<p>・ゲームを開始する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで活動を行うことで、活動量を確保するとともに、児童同士が活発に関わることができるようにする。</li> <li>・T1とT2は、「〇〇さんと△△さんですごろくボードを貼ってください。」などの言葉かけをすることで友達と一緒に準備を進められるようにする。</li> <li>・すごろくの途中に、友達と協力することでクリアできるミッションを設定することで、児童同士が関わることができるようにする。</li> <li>・ミッションの内容は、タブレット端末で提示する。対象児には、タブレット端末を管理する役割を任せることで、活動に意欲的に参加できるようにする。</li> <li>・T1、T2がミッションをクリアしたのか判断する。児童の頑張りを称賛しながら結果を伝えることで、児童の意欲を高められるようにする。</li> <li>・対象児には、友達同士の良い関わりがあったときや約束を守ることができたときには、個別に用意した「自立活動ポイントカード」にポイントとしてきらきらシールをつけていくことで、自己肯定感を高められるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>約束を守って、友達や教師と一緒にすごろくゲームをしている。</p> <p style="text-align: right;">&lt;3—(4)&gt;</p> </div>
<p>グ 3 全 6</p>	<p>6 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで、学習を通してどんな気持ちになったのか伝え合う。</li> <li>・自分で選んだ約束を守ることができたのかを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで気持ちを伝え合うことで、緊張感を和らげ、素直な気持ちを言葉で伝えやすいようにする。</li> <li>・表情マークとマークの下に気持ちの言葉を提示することで、どんな気持ちなのか選択できるようにする。T1とT2は、「どうして〇〇の気持ちなのですか。」と質問し、理由も答えられるようにする。</li> <li>・T1とT2は、マイナスな気持ちであったとしても、言葉にできたことを称賛し、安心して気持ちを伝えられる環境を作るようにする。</li> <li>・目標の振り返り際には、花丸、二重丸、丸のカードを準備し、三段階で自己評価をして、顔写真カードの上に貼れるようにする。</li> <li>・T1やT2は、児童の自己評価に応じて、授業の中で約束を意識していた場面を具体的に伝え、称賛することで、自分自身や友達の頑張りを知ることができるようにする。</li> </ul>
<p>全 1</p>	<p>7 終わりの挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢を正して挨拶をすることで、学習の終わりを意識できるようにする。</li> </ul>

【板書計画】

〈ホワイトボード〉

自立活動

あいさつ

もくひょう  
やくそくをまもって、すごろくゲームをしよう。

やってみよう  
1 やくそく  
2 すごろくゲーム  
3 ふりかえろう  
・きもちをつたえよう  
・やくそくをふりかえろう

あいさつ

こえのものさし

◎  
顔

○  
顔

◎  
顔

◎  
顔

◎  
顔

やくそく

やくそく

やくそく

やくそく

やくそく

〈移動式ホワイトボード〉

すごろくゲームをしよう

□	□	□	□	□
□	□	□	□	□

【座席配置】★…対象児童

〈全体学習〉

ホワイトボード

TI

★A B C E

G D F

T2

〈グループ学習〉

ホワイトボード

移動式ホワイトボード

C TI

B

★A

F D

G E

T2

移動式ホワイトボード